



アカシア俳句会



令和六年 冬季・新年俳句会「句報」

冬・新年の季語を含む作品 一〇五句

「選句」 赤文字：特選

「投句」 作品

作者

光 茂福

以圭 亘博
圭佑秀

茂元

元由 佑惠秀
恵博志秀

志 光 亘福

展福 志光
展以福 由光
展茂 元佑秀
展由 佑

以圭 元佑博
亘博
圭 亘 元 恵 志 秀

圭 光

色あせし葉の下見れば冬木の芽
こたつ入りスマホいじれば友の声
布団干し覗けば彼方吾子手ふり
氷雨降る箱根路駆けてたすき継ぐ
地震事故正月飛びて日々虚ろ

加龍恵子
加龍恵子
加龍恵子
加龍恵子
加龍恵子

風寒し偶に日が出る冬の空
いたずらに年を重ねて年の暮れ
除夜の鐘戦禍に耐えるウクライナ
獅子舞や昭和に返る我が心
宝船科学芸術ギリシヤから

都 福仁
都 福仁
都 福仁
都 福仁
都 福仁

格好をつけし和服の裾寒し
ファンファアレガッツポーズに舞う小雪
旧交を温め直す祝賀会
延び延びの賀状筆折る寒波かな
指の麻痺タイも結べずお正月

戸堂博之
戸堂博之
戸堂博之
戸堂博之
戸堂博之

野良猫と親しくなりて日向ぼこ
冬りんご一口大にて供されし
はや宴終わりにて主客マスクせり
去年今年エプロンはずし曇けり
冬銀河呆けし友に思ひ馳せ

中野亘子
中野亘子
中野亘子
中野亘子
中野亘子

文化勲章こんな身近に三丘ばんざい
文化勲章身近になりし年暮るる
煮大根湯気もごちそう星降る夜
正月の集い戦の国もありて
元日の大地震われは酒のみて

山家由紀
山家由紀
山家由紀
山家由紀
山家由紀

以	茂	茂恵	展福由恵志
初春の滝に向かひて身を浄(きよ)む 枝混(こ)むもすつと宇宙へ伸ぶ一枝 冬枯れの野に花想ひ春を待つ 春 宴 孫 等 成 人 勞 られ 雪斑(まだら)山容の美に心和ぐ	いとひらの雲いただきて山眠る 木洩れ日の岩陰灯り石露の花 杉 玉 や 老 舗 代々門の松 具材鍋海山溢れ寒の入り 煌めきて髪に満飾成人の日	前田秀一 前田秀一 前田秀一	前田秀一 前田秀一 前田秀一 網 佑子 網 佑子 網 佑子 網 佑子 網 佑子

【選句についてお願い】

- 一、お一人五句選句して頂き、その「句番号」をお寄せください。
- 二、選句の内「特選句」一句の番号の後ろに「特選」と記入して下さい。
- 三、「特選句」について、五〇文字以内で句評をお願いします。

投句、選句者氏名 ()内は選句者略号(五十音順)

網 佑子(佑)、岩崎悦子(岩)、加龍恵子(恵) 楠野圭子(圭)、佐藤茂弘(茂)、戸堂博之(博)
 中野亘子(亘)、西村敏治(敏)、野本展子(展)、藤井光正(光)、前田秀一(秀)、三木徳彦(徳)
 都 福仁(福)、元永悦子(元)、山家由紀(由)、吉澤志保子(志)、吉田以登(以)

編集人 前田秀一

